

学校名	佐賀県立多久高等学校	C: やや十分である D: 不十分である
1 前年度 評価結果の概要	本年度の学校評価においては、すべての評価項目において達成度が「ほぼ達成できた」「概ね達成できた」となり計画に沿った教育活動により一定の成果をあげることができた。特に ① わかる・力がつく授業の実践、キャリア教育の充実、進路意識の向上において学力向上のために、基礎学力の定着を揃へ、朝の学習の時間を継続的に活用することができた。また、自己表現力の育成では、学校行事等を踏まえ、継続的な指導を行い、クラスや学年、全校での発表を積極させることで表現力の向上が図れた。 ② 学びのための環境づくりでは、思いやり心、感謝する心、豊かな心を育むこと、豊かな心を育むこと、また、生徒会行事の充実では、生徒会役員やボランティア部を中心に、地域の清掃活動や様々なボランティアに参加することで、地域との連携を図ることができた。 ③ 生徒会活動・部活動の活性化では、問題行動の未熟防止と減少を目標に掲げ、校則や公営のルール・マナーを守る力を習得させるための環境を作った職員主体で取り組みとして一定の成果をあげることができた。 ④ 働き方改革の推進については、前年度からは大幅な時間外自発勤務の削減ができたものの、国・県が定める取り組み内容や時間外の基準には届いておらず、さらなる取り組みが必要である。	
2 学校教育目標	◎「自分の夢を形にし、」校則に「愛・自己・創造」のもとに、教職員と生徒が愛と信頼のなかで、文教の風薫る校風の創造をめざすとともに、自らの夢を生き、目標に向かって挑戦する意欲を持ち、その実現へ前進する「知・徳・体」の調和のとれた、心身ともに健全な生徒を育成する。 ○めざす生徒像・・・自らの夢を描き、目標に向かって意欲的に挑戦し続ける生徒 ○各系列が設定する具体的な生徒像 ・人文科学系列・・・言語や文化、自然現象を科学的に捉える知識・教養を持ち、コミュニケーション能力を身につけた生徒 ・商業ビジネス系列・・・商業ビジネスの分野で即戦力となる知識・技能や自らを磨き身につけた生徒 ・健康福祉系列・・・福祉のスペシャリストをめざし、その知識・技能とともにノーマライゼーションの精神を身につけた生徒 ・工業技術系列・・・ものづくりを通して自らの技術を磨き、工業やデザイン分野での次世代を担う人材となる知識・技能を身につけた生徒	
3 本年度の重点目標	①わかる・力がつく授業の実践、キャリア教育の充実、進路意識の向上・・・・・・基礎学力の向上、専門的な知識・技能の習得 ②学びのための環境づくり・・・・・・（いじめ）の防止対策の推進、情報モラル教育の推進、自律心の育成、ボランティア精神の涵養 ③生徒会活動・部活動の活性化・・・・・・部活動の奨励、健康の自己管理能力の育成 ④働き方改革を踏まえ、限られた時間内での専門性を生かす・・・・・・業務の精選と効率化、職員の健康意識の高揚を図る	

重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目											
重点取組				中間評価		最終評価		学校関係者評価			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
●学力の向上	○基礎学力の定着と進路意識の向上	○基礎学力の定着	・全校で毎朝の学習を実施し、基礎学力、学習習慣の定着を図る。 ・1年次は基礎学力の定着を目指し、補習を実施する。 ・2・3年次は各学年に合ったガイダンスの実施と進路を意識した進学・就職希望先別の補習や模試等の実施。	・				・		学力向上 進路	
	資格取得の奨励と学力及び専門性の向上	○人文科学系列を中心に履修する生徒に対して、進路希望に応じた学力をつける。	人文科学系列・・・基礎力診断テストC、Dランクの割合の減少を目指すし、成績上位層の引き上げを図る。英語検定や漢字検定の受験を奨励し、資格取得を目指す。	・				・		各系列主任 進路	
		○健康福祉系列・・・介護職員初任者研修の充実。福祉性環境コーディネーター3級検定合格7割以上を目指す。	健康福祉系列・・・随時小テストを実施し、知識理解を評価しながら補習等で全体及び個別指導を行う。								
		○専門系列を中心に履修する生徒に対して、資格取得者の増加を目指す。	工業技術系列・・・三級技術士などの取得向上、ジュニアマイスターレベル5名以上を目指す。								
		○商業ビジネス系列・・・3科目以上1級取得者10名以上を目指す。	商業ビジネス系列・・・各学年ごとに教科の目標を周知し、個々の資格取得に向けたスケジュールを立案させ、高度資格取得に向けた学びを推進する。								
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会的、倫理的な正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○進路教育の全体計画に基づく授業の実施。 ○人権・同和教育講演会後の生徒の理解度（理解できた以上の回答）を9割以上。 ○中高連携事業の生徒の満足度を8割以上。	・人権・同和教育講演会の実施 ・「LHR」にて進路保障の授業実施 ・「現代社会」「福祉基礎」「保健体育」における情報モラルや人権教育の実施 ・中高連携事業の実施	・				・		人権・同和 企画・研修	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●いじめ防止等（いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事業別対策等）について組織的対応ができていると回答する教員90%以上	年2回のQUTテスト及びいじめ実態調査を実施する。QUTテストの結果を活用し、いじめのない学校・学校づくりにも努める。また、いじめ実態調査実施後は、調査委員会を開催し早期対応に努める。	・				・		生徒指導 教育相談	
●健康・体づくり	⑥「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	⑥「健康に食事は大切である」と考える生徒を100%にする	●食に関する実態調査を実施し、観点を整理する。実態に応じて関連科目に結び付け、意識向上を図る。	・				・		①体育科 ②保健厚生 ③家庭科 保健厚生	
	○校内美化の推進	○教職員・生徒一体となった美化活動を推進し、ゴミのない校舎を実現する。 ○可燃ごみ量の昨年度比5%削減を目指す。	・毎日の全員掃除を徹底し、月1回（年間12回）程度の大掃除を行う。美化委員がごみの持ち回りの推進とごみ収集の際に分別作業の補助を行なう。	・				・			
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校時間の上限を遵守する。	・会議等を精選し、勤務時間内に設定する。 ・効率的な業務の一助となる設備や機材の配置・整備を行う。	・				・		教頭	
	○新課程編成に向け、生徒の学力向上や進路保障を念頭に置きつつも、一方で教職員の働き方改革や職場環境改善も進めて教育課程を編成する。 ○クラス編成（授業時数）、分掌業務、部活動間業務等の負担バランスを適正化し、働きやすい職場を目指す。 ○学級編成・カリキュラムの見直し ○学校行事の精選	○職員アンケートで「個別の業務負担がやや軽くなった」に回答合計が8割以上。同時に、「職務が以前に比べやや重くなった」に回答合計が8割以上。 ○管理職は各分掌に指示し個別の廃止削減減減について、職員アンケート結果等をもとにその成果を考察する。 ○クラス編成、各分掌が行事・業務の合理的な見直しを経て廃止・削減した実績とその成果を年度末までに可視化する。 ○系列会議及びカリキュラム委員会を通して、よりよいクラス編成や教育課程編成を目指す。	・カリキュラム検討は春・秋2期に大別、各期の進捗目標を定め教科系列は協議で進め、教務がこれらに連携集約する。 ・管理職は各分掌に指示し業務の整理編成、担当部署の見直し等について検討させこれらを吸い上げるとともに、可能なものから具現化を進める。 ・管理職は同時に、クラス編成、分掌・部活動の整理統合について、必要に応じて委員会開催やアラインを通して検討する。 ・3学期に職員アンケートを実施。年度末までに集計、分析、学校評価に反映。	・				・		企画・研修 教務	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言		
◎志を高める教育	◎郷土への誇りや愛情の醸成 ◎将来社会貢献するための知識・技能獲得への意識向上	◎郷土に誇りや愛情を感じる生徒を80%以上にする。 ◎社会貢献するための知識・技能を獲得させる。	・「佐賀を誇りに思う教育」を実施させる。 ・各系列が目指す具体的取組を実施するとともに、社会参加の在り方について考えを深めさせる。	・				・			生徒会
○特別活動	○生徒会活動・部活動の活性化	○部活動加入率を80%以上にする。 ○生徒会行事に積極的に参加できた」と答える生徒を80%以上にする。	・年度当初の部活動紹介を工夫し、勧誘に努める。 ・生徒会役員のモチベーションを高め、行事の見直しや工夫を行う。	・				・			生徒会
○教育の質の向上に向けたICT活用教育の実施	○ICT教育の推進並びオンラインによる授業支援の研究	○オンラインで休業中の生徒の学習管理を行う。	・Office365のメール機能の生徒と職員への研修 ・夏季休業と冬季休業でOffice365のメール機能を使った課題の配布と回収の実証実験	・				・			教務 ICT
●・・・県共通 ○・・・学校独自 ●・・・志を高める教育											
5 総合評価・次年度への展望											